

- 6 20世紀の欠片を拾い集める奇妙な旅
竹石安宏
- 8 A Strange Trip to Pick Up Missing Pieces of the 20th Century
Yasuhiro Takeishi
- 10 The Evolution of Rock T-shirt
- 12 **Legendary Rock T-shirts**
ロック史を語る伝説のTシャツ20
1. ELVIS PRESLEY (Early 60's Merchandise T-shirt)
 2. BOB DYLAN (1976 Night Of The Hurricane Official T-shirt)
 3. IGGY POP (1980 Live at Booki's Club 870 Official T-shirt)
 4. TOM WAITS (1977 Live in Japan Official T-shirt)
 5. FILLMORE EAST & WEST (1960's Staff Jerseys)
 6. RED HOT CHILI PEPPERS & NIRVANA (1991 Tour Bootleg T-shirt)
 7. JIMI HENDRIX (1970 "Rainbow Bridge" Staff T-shirt)
 8. SADISTIC MIKA BAND (1975 "Hot! Menu" Official Shirt)
 9. THE CLASH (1979 First U.S. Tour Official T-shirt)
 10. BOB MARLEY & THE WAILERS (1976 British Tour Official T-shirt)
 11. THE NEW YORK DOLLS (1973 Live At Ellis Auditorium With Iggy & The Stooges)
 12. KEITH RICHARDS (1977 Free Keith Bootleg T-shirt)
 13. DAVID BOWIE (1973 "Aladdin Sane" Official T-shirt)
 14. THE GRATEFUL DEAD & THE ALLMAN BROTHERS BAND & THE BAND
(1973 Summer Jam Official T-shirt)
 15. BRUCE SPRINGSTEEN & THE EAST STREET BAND
(1975 "Born To Run" Tour Official shirt)
 16. THE SEX PISTOLS (1978 Live at Kingfish Club Staff T-shirt)
 17. THE DOORS (1970's "Morrison Hotel" Bootleg T-shirt)
 18. THE BAND (1976 "The Last Waltz" Official T-shirt)
 19. LED ZEPPELIN (1976 "Presence" Official T-shirt)
 20. JOHN LENNON (1974 "Walls And Bridges" Official T-shirt)

54

THE ROCK T-SHIRT ARCHIVES

ロックTシャツアーカイヴス

THE ALLMAN BROTHERS BAND/THE DOOBIE BROTHERS/THE GRATEFUL DEAD/
CROSBY,STILLS,NASH & YOUNG/NEIL YOUNG/ERIC CLAPTON/JEFFERSON STARSHIP/
SANTANA/THE WHO/BOB DYLAN/BRUCE SPRINGSTEEN/EAGLES/LYNYRD SKYNYRD/
AEROSMITH/ALICE COOPER/THE BAND/THE BEATLES/THE CLASH/GEORGE HARRISON/JOHN
LENNON & YOKO ONO/LED ZEPPELIN/MONKEES/NIRVANA/PUBLIC IMAGE LIMITED

150

THE ROLLING STONES Celebrate 50th Anniversary

The Greatest Rock'n' roll T-shirt in the World

168

Talkin' about Rock T-shirt

ロックTシャツを語ろう

×田中凛太郎 スペシャル対談

172

The OTHER ROCK T-SHIRT ARCHIVES

177

Festival Does not start If there is No T-shirt

Tシャツがなければフェスは始まらない!

Photo/Yasuhiro Takeishi





Legendary Rock T-shirts ロック史を語る 伝説のTシャツ20



アーティストの音楽性やヴィジュアルイメージはもちろん、ときに当時のアートやファッションの流行をも体現するヴィンテージロックTシャツ。そこには時代が凝縮されている、といえはささか大げさだが、アーティストたちが活躍した時代の感覚や空気感が濃密に込められていることは間違いない。それこそ筆者の心をとらえるロックTシャツ最大の魅力だが、ときとしてそこにはいまに語り継がれてきた伝説的な出来事や瞬間も内包されている。ここではそんなロック史の一部として語るに足る、伝説のロックTシャツ20枚を厳選。たとえプリントが色褪せ、ボロボロになっても、強烈な存在感を放ち続けるロック史の語り部に、目と耳を傾けてみてほしい。

BOB MARLEY &

1976 British Tour Official T-shirt

THE WAILERS



写真:Steve Emberton / Camera Press / アフロ



平和を勝ち取った不撓不屈のラスタマン

大成したアーティストには、必ずと言っていいほど伝説となって語り継がれる名演というものがある。映画「ボブ・マーリー ルーツ・オブ・レジェンド」で観て鳥肌が立った、ボブ・マーリーによる1978年のライブはまさに神がかった伝説的一夜だった。1976年ジャマイカの政治闘争に巻き込まれたマーリーは、何者かによって自宅で銃撃され、九死に一生を得る。このTシャツは当時英国に逃れてツアーを行い、英気を養っていた頃のものだ

が、彼はそのわずか2年後に混迷を極めていたジャマイカへと戻る決意をする。それは母国の窮地を救うための、勇気ある決断だった。そしてキングストンにて「スマイル・ジャマイカ」と銘打ったチャリティコンサートを開催。同会場には敵対する政党の党首も来場していたが、マーリーは演奏中に即興で彼らへ和解を呼びかけ、なんとステージ上で握手を交わさせたのだ。それは音楽が平和を勝ち取った奇跡の瞬間だった。

パンクという無軌道な生き様と死に様

セックス・ピストルズのTシャツといえば、ヴィヴィアン・ウエストウッドとマルコム・マクラレンが手掛けた「セックス」や「セディショナリーズ」のものが有名だ。だがこれはどちらのものでもなく、米国ルイジアナ州のライブハウス、キングフィッシュが作ったスタッフTシャツである。1977年にアルバム『勝手にしやがれ』を発表し、翌年初のアメリカツアーを行ったピストルズ。ツアー中に同じデザインのTシャツをジョニー・ロットンやグレン・マトロックが着用している写真が残っているが、彼らにとってそれは最初で最後の海外ツアーとなった。元々乗り気ではなかったメンバーだが、保守的なアメリカ南部からツアーがスタートしたことも災いし、各地で観客との暴力事件が頻発。嫌気がさしたロットンがサンフランシスコ公演を最後に脱退し、バンドは空中分解してしまったのだ。最後までアナーキーだった彼らの、無軌道な最終章を共にしたTシャツである。



1978 I Survived The Sex Pistols First American Tour Bootleg

「オレはピストルズのツアーを生き抜いた」という洒落の効いた文言が踊るTシャツだが、実際のツアーは洒落にならないほど壮絶を極めたという。カミソリで自分の胸に「ドラッグをくれ」と彫り、ベースで観客に殴り掛かったシドや、辛辣な言葉で観客を挑発するロットンは、結局ツアーを生き抜けなかった。



GETTY / images

THE SEX PISTOLS

1978 Live at Kingfish Club Staff T-shirt

THE BEATLES



写真:Everett Collection/アフロ

ロックTシャツの原型ともいえるキャラクターアパレルを1960年代に販売していた代表的なバンドが、ご存知ビートルズである。ポップミュージックの市場自体がまだ発展途上であった当時、ある程度の知名度と人気があればマーチャライジンググッズなどは作れなかっただろう。なぜならそれらはファンが集うライブ会場ではなく、街のレコード店やデパートなどで販売されていたからだ。しかもビートルズは機材の不備やセキュリティ上の問題により、1966年を最後にツアーを行っていない。つまりライブ会場で売られる典型的なロックTシャツは、ビートルズにおいては存在しないようだ。



1963 Official



1963 Official

アイドルのような笑みを浮かべたメンバー4人の写真をイラスト化してプリントしたオフィシャルスウェットシャツ。イラスト下にはそれぞれのサインもプリントされている。なお著作権クレジットに記載された「NEMSエンタープライズ」とは、ビートルズのマネージャーだったブライアン・エプスタインが設立したマネジメント会社だ。



1963 Official



1977 "Live At The Hollywood Bowl" Official



1970's Bootleg



1980's "Magical Mystery Tour" Official

THE ROLLING STONES

Celebrate 50th Anniversary

The Greatest Rock'n'roll T-shirt in the World 世界最強のロックアイコンを着る

「ローリング・ストーンズで決まりだよ。なぜって、世界最強のロックンロールバンドだからさ！」

1962年の結成から昨年で50周年を迎えたローリング・ストーンズ。その半世紀にも及ぶ活動の節目を記念して制作された公式ドキュメンタリーフィルム『クロスファイヤー・ハリケーン』の劇中、インタビューに応える10代の少年が発するのが冒頭の

言葉だ。ストーンズの絶頂期でもあった1970年代のシーンだが、今日ではその言葉はけっして大げさではなかったと断言できる。フィルムでの主要テーマにもなっているように、これまでストーンズは数々の壮絶なトラブルを乗り越えてきた。マスコミとの闘いやメンバーの死、逮捕劇、ドラッグ、不和など、まさに“十字砲火の嵐”のなかをギター片手に転がり続けてきた。そう

した諸問題を蹴散らしてきただけでなく、世を超えて今日まで第一線で活躍してきたストーンズには、“世界最強のロックンロールバンド”という称号こそふさわしいといえるだろう。

そしてそんなストーンズのTシャツもまた、世界最強のロックTシャツなのではないかと思う。彼らのトレードマークである「リップス&タン」は、ロック史上最も知名度の高いアイコン

であることは間違いない。そればかりか目にした瞬間に、クールで危うく、しかも古びない、彼らがずっと追求していたロックンロールのサウンドとイメージがストレートに伝わってくる。そう、ローリング・ストーンズのロックTシャツは世界最強の“着るロック”なのだ。



1983 20th Anniversary Official

ストーンズがチャック・ベリーのカバー「カム・オン」でレコードデビューした1963年から20周年を記念し、当時の写真を使って制作された一枚。彼らは健全なビートルズの向こうを張る不良バンドとして売り出され、若者に大人気となった。なお翌年から1966年まで、英国のアルバムチャート首位はビートルズかストーンズだった。



2012 50th Anniversary Official

2012年に結成50周年を迎えたローリング・ストーンズ。そのアニバーサリーロゴがプリントされたTシャツには、彼らのトレードマーク「リップス&タン」が誇らしげにあしらわれている。1971年に登場した同マークは、今日までじつに40年以上もさまざまなカタチで使われ続け、世界中の誰もが知る最強のロックアイコンとなった。

THE ROLLING STONES

Publisher
今井今朝春
Keshaharu Imai

Author
竹石 安宏
Yasuhiro Takeishi

Editor
土居輝彦
Teruhiko Doi

Photo Technical Adviser
大田亨明
Takaaki Ota

Designer
杉本 利菜 (WPPデザイン部)
Lina Sugimoto (WPP Design Section)

Translation
香山 茂子
Shigeko Kayama

Staff Photographer
熊谷義久
Yoshihisa Kumagai

油科康司
Yasuji Yushina

鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda

青木健格
Takenori Aoki

宮坂政邦
Masakuni Miyasaka

Production Director
小川俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Managere
笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP
Base

Correspondents, Washington, D.C. Bureau
(Pictorial Press International)
Norman T.Hatch
Mikako Burks



Photo/Yasuhiro Takeishi

LISTEN TO THIS T-SHIRT



1970's The Greatest
Underpants In The World

WORLD **M**OOK

ワールド・ムック972

平成25年3月5日発行(通巻972号)

20世紀ロックTシャツ大図鑑

The collection and description of the 20th century Rock T-shirt.

竹石安宏:著 Yasuhiro Takeishi

発行人●今井今朝春
編集●土居 輝彦
発行所●株式会社ワールドフォプレス
〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2
TEL: 03(5385)8111[編集部]
03(5385)5658[広告営業部]
03(5385)5701[販売部]
FAX: 03(5385)5614[編集部]
03(5385)5614[広告営業部]
03(5385)5703[販売部]
印刷所●大日本印刷株式会社

© WORLD PHOTO PRESS 2013
造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がございましたら販売部までにお送りください。
送料弊社負担にてお取り換えいたします。本誌掲載記事の無断複製転写を禁じます。
弊社出版物のお申し込みはインターネットをご利用いただけます。http://www.monomagazine.com
●文中の価格はすべて消費税込みの総額表示です。